

めざす子ども像

**地域とのかかわりを大切にする子・自分を大切に
する子・なかまを大切にする子・学習を大切にする子**

取組目標

地域との交流やフェスタを通して、子どもたちが主役として活動することができるよう学校園と地域が協働して取り組むとともに、地域人材を積極的に活用する。**【今年度の取組紹介】**

今年度は、地域交流事業として、「せいびっ子祭り」、「スポーツ in せいび」、「大安寺フェスタ」、「済美南フェスタ」、「春日ふれあい文化祭」などのフェスティバル事業を校区内の小中学校で開催しました。これらの事業には、地域と家庭、学校が協力して企画運営に取り組みを行っています。子どもたちが生き生きと活動し、地域の方とのふれあいを深めるとともに幼稚園・小学校・中学校の枠をこえて交流することができました。

また、各学期に開催している地域別懇談会も111回を数えました。地域の様々な立場の方が集まり、青少年の健全育成を願って意見交換や研修を行いました。第111回目は、「スマホ問題」というテーマで奈良警察署の方に講演していただきました。

さらに、校内清掃や花壇整備などの教育環境の整備や平和学習や実習などの学習支援には、多くの地域ボランティアの方の協力を得て取り組むことができました。

**【春日ふれあい文化祭】****【第111回 地域別懇談会】****【今年度のまとめ】**

フェスティバル事業においては、多くの地域ボランティアの方々の協力を得て、子どもたちが生き生きと活動し交流する様子が見られました。また、地域の方にも多く参加していただくことができ、地域と学校とのつながりをより一層深めることができました。昭和57年に始まった「地域別懇談会」も111回を数え、地域と学校、家庭との連携がより深まりました。さらに、教育環境支援事業として、ボランティアの方々に環境整備していただくことにより、子どもたちが地域の方に守られていることを実感することができました。

【来年度に向けて】

今年度までの事業をさらに継続し発展させることにより、地域と学校、家庭の連携をさらに強いものにしていきたいと思います。また、そのための新しい地域人材の発掘にも取り組んでいきたいと考えています。

めざす子ども像

地域とのかかわりを大切にする子・自分を大切に する子・なかまを大切にする子・学習を大切にする子

取組目標

地域と協働した取組から、子どもたちが自尊感情を醸成し、
自分の学校や地域を誇りを持って語れるようにするとともに、
基礎学力の向上と規範意識の育成につなげる。

【今年度の取組紹介】

今年度は、学習活動支援事業として「職場体験」、「福祉体験」などの体験学習支援や学習への意欲と基礎学力の向上を図るための放課後学習会「わかるわかる学習会」に取り組みました。また、地域交流事業として部活動を通して介護施設の入所者の方や保育園児などと交流する「出前で部活」、教育環境支援事業として花壇の整備などに取り組みました。

「職場体験」では、マナー学習講習会を実施し、ホテル日航奈良の方を招いて、人をお迎えするときの心構えなどを具体的に教えてもらいました。また、「わかるわかる学習会」は、卒業生や地元の大学生をボランティアとして迎え、生徒の自学自習を基本として学習に取り組みました。基礎学力の定着を図る「こつこつコース」と発展的学習に取り組む「どんどんコース」に分かれて学習を行っています。「出前で部活」では、保育園児やお年寄り方と交流し触れ合うことにより、つながりを深める良い機会となっています。



【マナー学習講習会】



【わかるわかる学習会】

【今年度のまとめ】

「わかるわかる学習会」は、生徒自身が「勉強がわかるようになりたい。」という思いから粘り強く取り組むことにより、「わかるようになった」実感を得てさらなる学習意欲の向上につながりました。また、「マナー学習講習会」では、マナーとは自分本位ではなく相手の立場に立って考えることが大切であるということを教えていただき、生徒自身が将来、進路選択にのぞむ際に大切にすることなどを学ぶことができました。

【来年度に向けて】

来年度も学習活動支援事業の「職場体験」や「福祉体験」、地域交流事業の「出前で部活」、教育環境支援事業などを継続して取り組んでいきたいです。「わかるわかる学習会」も引き続き、取り組んでいきます。

めざす子ども像**○地域とのかかわりを大切にする子****○自分を大切にする子****○なかまを大切にする子****○学習を大切にする子****取組目標****済美の町と人、そして奈良の町と人と関わる体験活動を行うことで、地域に誇りを持つ取組を進めていく。****【今年度の取組紹介】**

2年生 「わくわくさんぽ せいびの町」

自分が見つけた「済美の町のすてきな所」を紹介し合い、全員で町探検をしました。済美の町にはすてきなところがいっぱいあることを知りました。その後、奈良からくりおもちゃ館、格子の家、いさか鮮魚店、朝日温泉、徳融寺、うどん屋重乃井、カレーうどん kaiun、パティスリーkaraku、ペットサロンタケノウチなど、子どもたちが知りたい所を探検し、「町のすてきな人」発表会で紹介しました。地域の人たちと触れ合い、教えていただいて、済美の町にはすてきな人がたくさんおられることを知りました。子どもたちは、済美の町に関心を持ち親しみを感じるようになりました。

全学年 「ありがとう集会」

今年は、校内音楽会とあわせて行いました。音楽会では、各学年が音楽学習を通して積み重ねてきた成果を発表しました。1年生は斉唱「はじめまして」と合奏「子犬のマーチ」、2年生は斉唱「みんなでお買い物」と合奏「トルコ行進曲」、3年生は斉唱「友達になろうよ」と合奏「ゆかいな木琴」、4年生は音楽劇「幸せのベル」、5年生は合唱「たとえば、空」と合奏「風になりたい」、6年生は合唱「星の大地に」合奏「ハンガリー舞曲第5番」を発表しました。各学年の演奏を聴いていただいてから、参加いただいた25名の地域の方に日頃お世話になっていることへの感謝の気持ちを伝え、児童が作ったプレゼントを渡しました。

**【今年度のまとめ】**

今年度も済美・奈良の「人・もの・こと」を題材とした学習活動（世界遺産学習）に全学年で取組を進めました。地域の方々に協力をしていただき地域と連携した教育活動を通して、多くの児童が地域に親しみを持ち、自分たちの住むせいびや奈良の町を大切に思い守っていきたいという気持ちが育まれています。学校評価において「せいびや奈良の町が好きになった」という項目では、児童も保護者からも高い評価を得ています。

【来年度に向けて】

地域の教育力が高く、地域の多くの方々に体験活動を支援していただいて学習活動を進めてきました。今後も地域との話し合いを大切に、済美・奈良の「人・もの・こと」を題材にして児童の心を豊かにし、「済美・奈良を誇れる子ども」を育てる学習を進めていきたいと思います。

めざす子ども像

地域とのかかわりを大切にする子 自分を大切にする子 なかまを大切にする子 学習を大切にする子

取組目標

大安寺っ子、地域で学び、つながろう

【今年度の取組紹介】

今年度も「大安寺から学ぶ」事業に取り組みました。地域の民生委員の方々や万年青年クラブなど各種団体のご協力のもと、多くの地域の方々との出会いや関わりを通じて、交流を深め、体験学習ができました。

1年生は、「昔あそび体験」で、あやとり・けん玉・おはじき・カルタなどを教えていただきました。2年生は、身近な大安寺を見学したり、笹酒祭りに参加したりしました。3年生では、社会科と関連付けて「昔の暮らしや道具」を学び、地域の方々とともにかきもちを焼いて一緒にいただきました。4年生は、春日中の夜間学級のみなさんを招き、「学ぶこと」の意味や大切さを学習しました。5年生は、「米作り」に取り組み、田植えから稲刈りまでを体験し、収穫したお米をいただきました。6年生は、大安寺地区敬老会へ参加しました。「地域・仕事に学ぶ」事業では「今、自分たちが何をすべきか・何ができるのか」を考えました。

大安寺地区防災訓練においては、家族とともに、体育館で、夜の暗さを体験したり段ボールベッドを組み立てたりしました。運動場では、消火器での消火体験をすることができました。



【今年度のまとめ】

今年度も地域のたくさんの方々のご協力をいただき、年間を通じて、校庭や中庭の環境整備ができました。また、校舎内・外の環境整備もさらに進めることができました。今年度は、「チーム大安寺」を結成し、校舎内廊下の壁のペンキ塗りをさせていただきました。さらに、学校図書館の整備活動を進めることができたことにより、本に親しむ時間が増え、朝読書や「お話の会」の読み聞かせでも、集中して読んだりお話を聞いたりする児童の姿が多く見られるようになってきています。たくさんの「地域の人」との出会いや関わりを大切にしながら、交流を深め、体験学習に取り組んでいくことにより、児童が顔見知りになり、地域の中で進んであいさつができる児童を増やしていきたいと考えています。今後もこの取組を大切に、充実させていきたいと考えています。

【来年度に向けて】

校区・地域におられる様々な方々との交流を大切に、地域の事や伝統・文化について学び、地域社会から学ぶことの大切さを身につけ、児童自身が自分が生活している地域について、誇りを持って語れるように、育んでいきたいと考えています。

めざす子ども像**地域とのかかわりを大切にする子/自分を大切にする子/****なかまを大切にする子/学習を大切にする子****取 組 目 標**

地域とのふれ合いを通して、郷土愛や規範意識を育む。また、事業での関わりを通して、子どもと地域、学校と地域、地域同士のつながりを深めていく。

【今年度の取組紹介】

今年度、「チーム済南」は、例年行っている昔遊び教室や絵手紙教室でも、多くの方にご協力いただき、学習活動支援ボランティアとして子どもたちに指導していただくことができました。また、昨年度までの取組を継続し、球技クラブ、家庭科クラブ、室内ゲームクラブ、パソコンクラブで、ボランティアとして地域の方に教えていただきました。子どもたちは、優しく教えていただけることで地域の方々との会話が弾み、楽しい活動を通して地域の人々のぬくもりを感じることができました。ボランティアの方々は、子どもたち一人一人に寄り添い、子どもたちの思いを受け止めながら、それぞれの活動に対して、子どもたちに丁寧に助言していただきました。地域の方々には、授業の様子や児童の真剣な態度にふれることで学校をより身近に感じていただくよい機会となりました。

**【絵手紙教室（1年生）】**

秋の教育環境支援活動には、たくさんの地域の支援者の方に集まっていただき、花壇やプランターの手入れ・樹木の剪定等、隅々まできれいにさせていただきました。また、運動会前には、児童会活動の石拾い集会に合わせて、運動場の除草作業をしていただきました。年間を通じて花壇の手入れを積極的にしていただいたりするなど、一年中きれいな花で子どもたちを喜ばせ、学校を盛り上げていただきました。

**【教育環境支援】****【今年度のまとめ】**

今年度も、地域の多くの方が「チーム済南」として、子どもたちに関わって下さいました。大変精力的に活動していただいたことで、子どもたちは地域の方々に親しみを持って楽しく活動することができました。子どもたちの自尊感情を高めるために、挨拶、聞く、清掃の場面を大事にして自己効力感を持てるように取組を進めてきました。学校と地域が協力して積み重ねてきた取組の結果が、わずかではありますが、子どもたちの自信を持った行動に表れ始めています。

【来年度に向けて】

地域の子どもの健全育成のため、「チーム済南」の活動をより一層広げていきたいと思っています。ホームページや学校便りを活用し取組や成果をより積極的に地域に向けて発信したいと思っています。

めざす子ども像

○地域とのかかわりを大切にする子 ○自分を大切にする子
○なかまを大切にする子 ○学習を大切にする子

取組目標

子どもたちにとって地域とのつながりを意識できるふれあい活動事業を中心に、
様々な体験や経験を通して地域とのつながりを強く感じられる取組を行う。

【今年度の取組紹介】

◆済美校区には、昔から大事に守られてきたお寺や文化財が身近にたくさんあります。そうした所を『ならまちたんけん』として、地域の方に案内してもらう園外保育を行いました。十念寺・浅間さん・誕生寺・鳴川地蔵堂・庚申堂・格子の家・からくりおもちゃ館、さらには足を延ばして、元興寺・興福寺（五重塔・南円堂）など、毎年コースを替えて3～4回案内してもらっています。子どもたちは地域の方からその由来や言い伝えを聞いたり、時には触れたりしながら興味を持って見ていました。身近にある地域の良さを見たり聞いたり体験したりすることでいろんな事を知ることができました。また、最近、保護者にも呼びかけ一緒に参加する方が増えてきています。参加した保護者は、「近くに住んでいても今まで知らなかったことがたくさん勉強できた。」「わかりやすく説明してもらえてよかった。次は家族で行きたい。」という感想が聞けました。今後も、子どもたちにとって無理のない計画を立て、「済美幼稚園ならではの」取組を小学校の世界遺産学習につないでいけるものにしていけたらと考えています。



【今年度のまとめ】

今年度も、「ならまちたんけん」をはじめ、「新年を祝うお茶会」「いきいき済美っ子」「親子花苗植え」「絵本の読み聞かせ」「子育て支援」「ダンス・サッカークラブ」「昔遊び」「押し花教室」等、多方面にわたり地域の方からの支援をいただきました。たくさんの方々とのかかわりを通して、子どもたちに豊かな心が育ってきています。また、自分たちで遊びや生活を進めていこうとする気持ちを持てるようになってきました。保護者からは、「ならまちたんけんや昔遊び、お茶会等親が教えられないことを地域の方から学んで貴重な体験をさせてもらっている」という意見が多く聞かれるようになってきました。子どもたちは、さまざまな経験から、思いやりの心・挑戦する心を持てるようになってきていると感じています。

【来年度に向けて】

地域の方々から多くのことを学び、引き続き幼稚園が地域の子育て支援の拠点となるよう、さまざまな行事を通して、連携をさらに深めていきたいと考えています。

めざす子ども像

○地域とのかかわりを大切にする子
○自分を大切にする子 **○なかまを大切にする子**
○学習を大切にする子

取組目標

家庭・地域・幼稚園が一緒になって子育ての大切さや楽しさを感じる。

【今年度の取組紹介】

＜幼稚園祭り＞

PTAの役員の方が中心となって、幼稚園祭りを企画・運営をしてくれました。子どもたちは法被を着て頭には豆絞り姿で嬉しそうでした。今年は神輿を担いで園周を「ワッショイ！ワッショイ！」と元気な掛け声や太鼓の音を響かせながら周りました。地域の方や未就園児の子どもたちも、神輿の後について歩き賑やかに盛り上げて下さいました。その後子どもたちは、PTAのゲームコーナー（ボールあて・さかなつり・わなげ・くじ引き・スーパーボールすくい）、地域の方と一緒に羽子板や天狗下駄などで遊ぶコーナーを周って楽しみました。職場体験の中学生も手伝ったり子どもたちに関わったりしてくれ、子どもたちにとっても楽しいお祭りとなりました。



＜キッズサッカーを楽しもう＞

2名のコーチを招き年間8回行いました。ボールを使つての運動遊びやサッカーを楽しみました。鬼ごっこやボールを使つての準備運動では、遊びながらボールに触れたり体を動かしたりする楽しさを味わいました。チームに分かれてのゲームでは、ルールを守って友だちと一緒にボールを追いかける楽しさ、嬉しさやくやしさを感じる子どもたちの姿がみられました。地域の方や保護者の方にも観ていただき、声援を受けながら元気いっぱい遊びました。普段の遊びの中でもサッカーをする子どもたちの姿が多くみられ、徐々にボールの扱い方が上手くなりこけてもまた立ち上がり元気一杯走り続ける姿がみられ、逞しさと友だち関係の深まりを感じました。

【今年度のまとめ】

様々な方の協力を得て、楽しく学び活動できる充実した取組となりました。講師や地域の方に関わって頂く中で、子どもたちはいろんな人に積極的に関わる姿がみられるようになりました。また、いろんな人に認めてもらうことで意欲や自信にも繋がったようです。地域の方にも子どもたちの活発な姿を見ていただくことができ、保護者の方にも親子のふれ合いや幼児期の体力づくりの大切さを啓発することができ、園の取組を理解してもらう良い機会となりました。

【来年度に向けて】

- ・取組を継続し活動内容の充実をめざし、様々な人とのかかわりや豊かな体験を通して、子どもの豊かな心の育ちにつながるようにしていきたいと思います。
- ・今後も地域や保護者に活動内容や幼児の学びや育ちを様々な方法で知らせていく工夫をし、参加や参観の場を設け、より園・家庭・地域とのつながりを深めていけるようにしていきたいと思います。